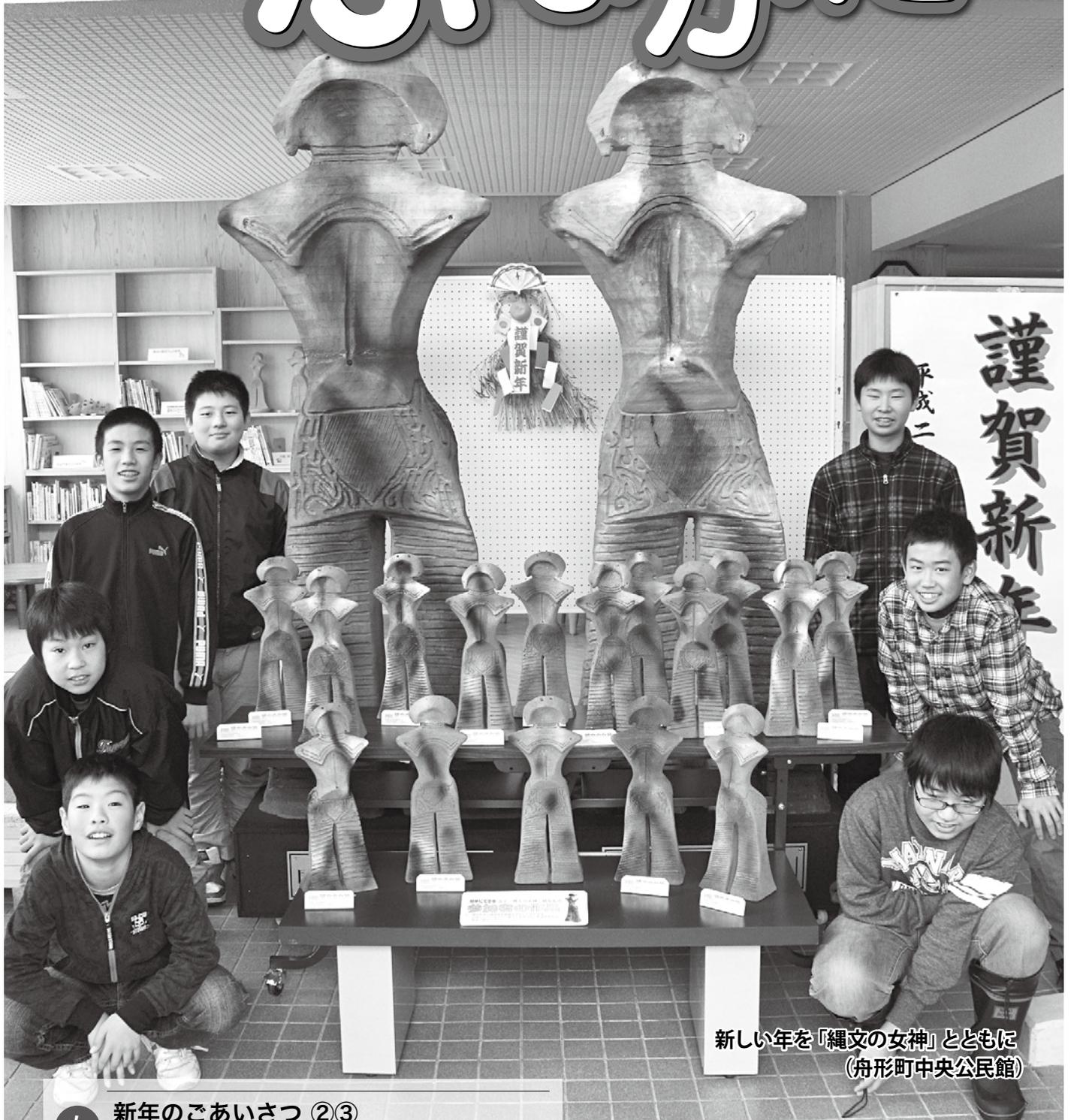


広報

心ながた



新しい年を「縄文の女神」とともに
(舟形町中央公民館)

も

新年のごあいさつ ②③

く

西ノ前遺跡をわたしたちの誇りに
「まちづくり事業」アンケート結果 ④⑤

じ

町のうさぎ ⑦

<特集> 伝え書く舟形の記憶 ⑧~⑩

2014年

No.659

1

新年あけまして

おめでとくお正月、ごまね



町民の皆さまにおかれましては、新たな希望を胸に新年を迎えられたことと存じます。ご家族の皆さま方のご健康とご多幸を心からご祈念申し上げます。

今年の干支は「甲午」です。「人間万事塞翁が馬」など、馬にまつわることわざがたくさんあります。悠久の大地を駆ける駿馬の如くに、大いなる飛躍の年にしていきたいものです。

昨年11月10日に大雪となり、4年連続の豪雪が心配されましたが、その後、天候も穏やかに推移し安堵しています。このまま、少雪が続くことを願っています。

まもなく、東日本大震災発生から3年が経とうとしています。被災地ではまだまだ厳しい避難生活を強いられている方がいらっしゃいます。被災者支援農場関係者の皆さまと連携し、これからも出来る限りの支援活動を継続していきたいと思っています。

さて、一昨年、国宝に指定されました「縄文の女神」の歴史的な意義を未来に継承するため、町条例で8月4日を「縄文の女神の日」に制定しました。うれしいことに、今年、財務省より地方自治法施行60周年記念貨幣として、「縄文の女神」がデザインされた五百円硬貨が発行されることになりました。心待ちにしたいと思っています。

昨年は、町消防団が(財)日本消防協会から最高の賞とされる「まとい」の特別表彰を受けました。また、舟形若あゆ温泉からの景観が高く評価され、「山形県眺望景観資産」に指定されました。これからも安心安全で魅力あふれるまちづくりに努めていきたいと思っています。

今年、町制施行60周年の佳節を迎えます。皆さまにとりまして、この1年がより良い年になりますことを心からお祈りし、年頭のご挨拶とさせていただきます。

舟形町長 奥山 知雄



「午」は、干支の7番目。年・日・時刻などに使われます。十二進法では、前半(午前)が終わり、後半(午後)が始まる位置にあり、その交差点を「正午」と言います。つまり、十二支の中間に位置し、草木の成長期が終わり、衰えを見せ始める状態を表したものとされています。

この後に「馬」としたのは、十二支を浸透させるため、覚えやすい動物の名前をあてたもので、順番や選ばれた理由は定かではありません。「馬」は「物事がつまづく」「幸運が駆け込んでくる」などと言われる縁起の良い動物です。

【馬のくせや強】

■馬が合う
性格や気が合うこと。

■走り馬にも鞭
順調に事を進めている者に対して、油断しないようにさらさらの助言や励ましを与えること。

■馬力
物事を精力的にこなす力。
仕事率の単位。1馬力は、75kgの物を毎秒1m動かす力。

【午年の主な出来事】

昭和29年
舟形村と堀内村が合併し、舟形町に。
(人口12,007名 1,989世帯)

昭和41年
長沢小・中学校完全給食開始
野田地区開田工事起工
長者原橋竣工

昭和53年
町営住宅2号棟完成
舟形駅が無人駅化
三光堰改修事業開始



平成2年
舟形町大蔵村共立うど山斎場完成
過疎地域活性化計画策定
県内初の地籍情報管理システム導入

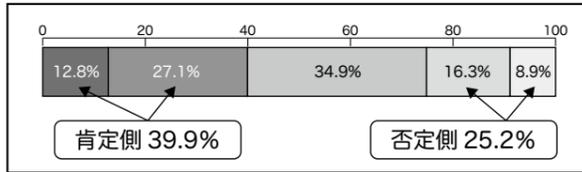
平成14年
住民基本台帳ネットワークシステム開始
えんじゅ荘30床増床、ゆいの家完成

アンケートの結果

平成25年8月実施
配布数 800世帯
回収率 35.0%

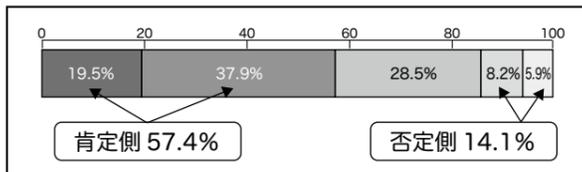
①(仮称) 縄文の女神記念公園整備事業

Q.地域の憩いの場として整備するとともに、観光地としての賑わいや集客効果があると思いますか？



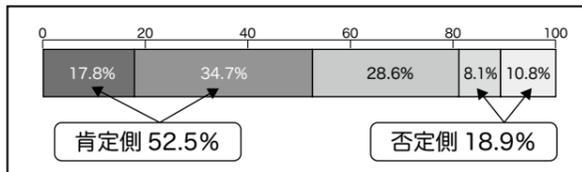
③(仮称) 情報板整備事業

Q.観光地としてのPR活動と観光者がスムーズに目的地にたどり着くことができる効果があると思いますか？



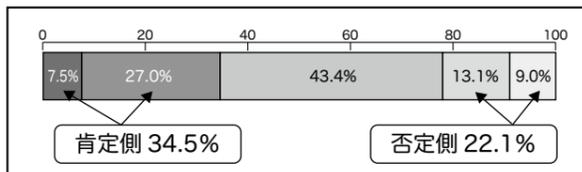
⑤(仮称) 散策路整備事業

Q.観光地としての趣きと利用者の交通の安全を確保する効果があると思いますか？



事業全体について

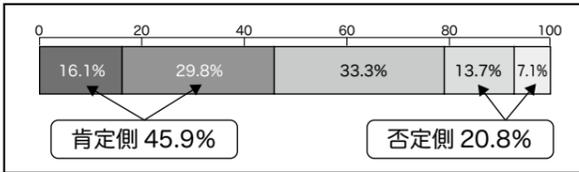
Q.それぞれの事業を行うことで、観光地としての賑わいから舟形町の活性化が実現できると思いますか？



凡例 ■ そう思う
■ どちらかというと思う
■ どちらとも言えない
■ どちらかというと思わない
■ そう思わない

②(仮称) 町道252号線拡幅整備事業

Q.記念公園にアクセスする町道を拡幅することで利用者の交通の安全を確保できる効果があると思いますか？



④(仮称) 舟形観光交流センター整備事業

Q.観光情報発信、体験学習イベントを催す施設として観光者の集客と地域交流促進の効果があると思いますか？



事業全体についてのご意見の一部を紹介します。

- 日常的に人が集まる魅力のある場となる工夫を。
- 整備事業期間を短縮すべきではないか。
- 土偶などの文化財＝観光地とはならない。土偶での盛り上がりは一時的なもので別の方向を考えるべき。
- 町の活性化の実現に期待してはいるが、高齢化が進む中で、公園やその他の管理など町の負担が増えて重荷にならないだろうか心配な面もある。
- 観光客が増えることは確かに町の活性化につながると思うが、それだけを目的にした整備計画なら賛成できない。国の宝が出土した遺跡を将来に長く保存することが第一の目的であってほしい。

アンケート結果と今後

アンケート結果の「(仮称) 縄文の女神記念公園整備事業」の効果については、肯定側の有効回答数が103件で、否定側の有効回答数は65件でありました。賛同率を算出すると、61.3% (103 / (103 + 65)) となり、事業効果が見込まれるものと判断できます。また、「(仮称) 町道252号線拡幅整備事業」と「(仮称) 情報板整備事業」については、いずれも肯定意見のほうが多数です。

「西ノ前遺跡周辺地区都市再生整備計画」とは、国土交通省が都市再生整備計画に基づき実施される事業等に交付金を交付するもので、交付率(国費率)は、全体事業費の概ね40%です。

みなさんからいただいた意見をもとに、西ノ前遺跡の保全や、将来の大きな負担にならない周辺整備などを念頭に置いて、西ノ前遺跡を町の誇りとして再認識し、地域コミュニティの再生と観光交流の増進など町全体の活性化を図る方法を今後も検討していきます。

▼問い合わせ先
舟形町まちづくり課企画調整班
☎(32) 2111 (内線313)

西ノ前遺跡を わたしたちの誇りに

新たな「町の顔」



「舟形町の「まちづくり事業」についてのアンケート」

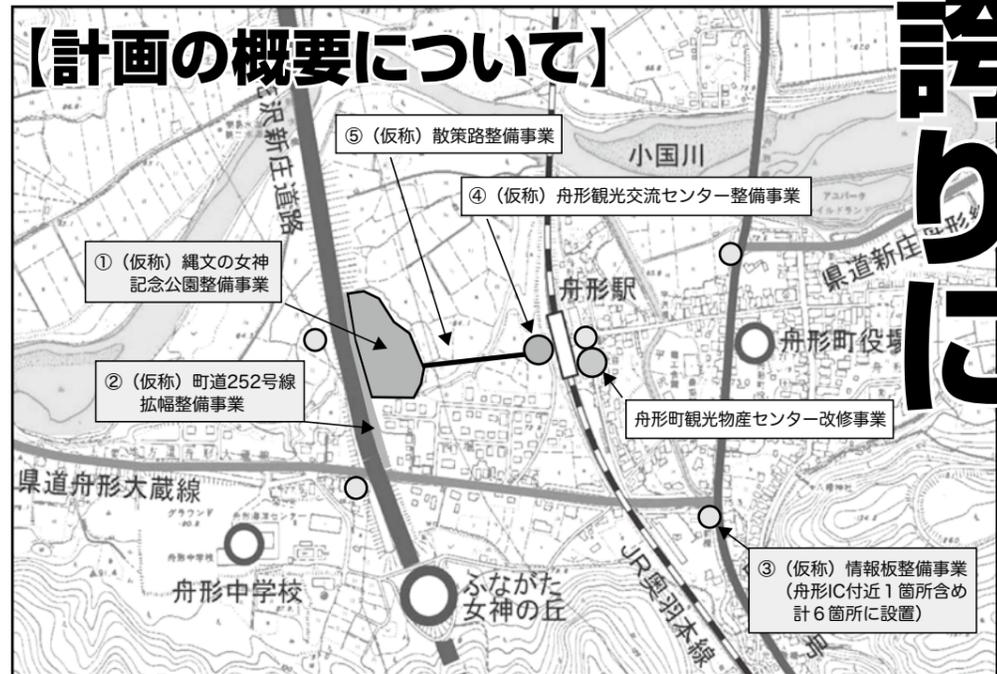
舟形町では、「縄文の女神」の愛称で親しまれている国宝「西ノ前土偶」が出土した西ノ前遺跡を新たな「町の顔」としていくための整備に取り組んでいます。

「縄文の女神」が国宝の指定を受けたことに伴い、「西ノ前遺跡環境整備・広域活用検討委員会」より、「女神に託された「縄文」の想いを遺跡整備に活かし未来の人々に伝えていくように」との想いから、遺跡整備と最上地域全体の観光振興に資することを目的とした報告書が町に提出されました。

都市再生整備計画

町では、第1期整備事業として平成26年度から平成28年度の概ね3カ年で進める「西ノ前遺跡周辺地区都市再生整備計画」の策定を進めています。これは、地域資源を活用した地域・観光産業の振興による地域の活性化を図ることを目的としたまちづくり事業の計画です。

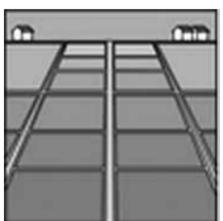
このまちづくり事業について、町に住むみなさんのお考えをお尋ねすることを目的に、平成25年8月にアンケート調査を行いました。その結果がまとまりましたのでお知らせします。



- 平成25年度は、舟形町観光物産センターに舟形観光情報館を移転し、駅周辺の活性化を図ります。
- 平成26年度から28年度の3カ年を第1期整備事業として、西ノ前遺跡を記念公園とする整備事業や観光案内板などを整備することで、新たな「町の顔」となるまちづくりを行います。
- 平成29年度以降は、舟形駅西口駅前に(仮称)舟形観光交流センター、同施設と記念公園を結ぶ散策路(遊歩道)の整備を検討する予定です。

舟形町のうごき

●人口
5,948人 (前年6,079人)
●世帯数
1,898世帯 (前年1,917世帯)

 <p>●出生 36人 (前年35人)</p>	 <p>●婚姻 24組 (前年11組)</p>	 <p>●転入 96人 (前年151人) ●転出 152人 (前年151人)</p>	 <p>●死亡 112人 (前年117人)</p>
 <p>●人口密度 50.0人/km²</p>	 <p>●1世帯当たりの人数 3.1人/世帯</p>	 <p>●小学校児童数 265人 (前年271人) ●中学校生徒数 131人 (前年141人)</p>	 <p>●65歳以上人口 1,978人 33.2% (前年1,976人 32.5%)</p>
 <p>●工業総出荷額 51億8,249万円 (H24.12末現在)</p>	 <p>●農家戸数 635戸 (農業共済細目書より)</p>	 <p>●経営耕地面積 1,761ha (農家台帳より)</p>	 <p>●舟形若あゆ温泉利用者 142,362人 (前年133,904人)</p>
 <p>●水道普及率 99.3%</p>	 <p>●水洗化率 83.3%</p>	 <p>●町の歳入 (一般会計) 44億1,562万円 (H24決算) (前年45億9,635円)</p>	 <p>●町の歳出 (一般会計) 42億3,593万円 (H24決算) (前年44億5,748万円)</p>
 <p>●消防団員 409人 (前年424人)</p>	 <p>●火災 4件 (前年3件)</p>	 <p>●救急車出場 196件 (前年214件)</p>	 <p>●交通事故 28件 (死亡1人：負傷37人) (前年20件)</p>

町県民税・所得税の申告がはじまります

《町・県民税 (住民税) の申告が必要な方》

平成26年1月1日現在、舟形町に住所がある方、または住所がなくても生活の根拠がある方で

- ①勤務先で年末調整をしていない方
- ②平成25年途中で退職した方
- ③勤務先を変えた方で、前職分の所得を会社に報告していない方
- ④2ヵ所以上から給与、報酬などを受けた方
- ⑤給与以外の所得がある方 (給与以外の所得が20万円以下であっても住民税の申告は必要です)
平成23年分から、公的年金収入が400万円以下で、それ以外の所得金額が20万円以下の方の場合、確定申告の必要はなくなりましたが (還付を受ける申告はできません)、住民税の申告は必要です。
●給与所得のみの方で年末調整済の方は、町・県民税の申告は必要ありません。
●直接税務署に確定申告をされた方は、町・県民税も併せて申告したものと見なされます。

※収入のない方でも、申告をしないと国民健康保険税の軽減措置や福祉施策などを受けられなくなる場合がありますので、注意してください。

◎今回の消費税率引き上げに伴う給付を受ける際も、申告が必要となる場合がありますのでご注意ください。

《確定申告が必要な方》

- ①事業所得 (営業・農業・その他の事業所得) や不動産所得がある方で、昨年中の所得の合計額が基礎控除、その他の控除の合計額を超える方
- ②土地や建物の売却による所得がある方
- ③雑損控除や医療費控除、寄附金控除を受けようとする方
- ④給与所得者で
 - 平成25年中の給与収入が2,000万円を超える方
 - 給与を2ヵ所以上の事業所から受けている方
 - 給与以外の所得が20万円を超える方

《申告の際に持参するもの》

- ①印鑑
- ②源泉徴収票などの収入のわかるもの
- ③営業、農業、その他の事業所得があった方は、帳簿書類、通帳など収入・支出のわかるもの
- ④雑損控除、医療費控除、寄附金控除等を受ける方は、その支出のわかる領収書等
- ⑤一般の生命保険料、個人年金保険料、介護医療保険料、地震保険料等の領収書・証明書
※医療費の領収書等は集計して持参ください。

《平成25年分申告相談日程表》

相談日	町内名	時間	場所	相談日	町内名	時間	場所
2/4 (火)	実栗屋、瀬脇、横山、真木野、新堀、西又、松橋	13:00~16:30	農村環境改善センター 2F研修室	2/12 (水)	舟形第1・2、大平、小松	13:00~16:30	役場 3F会議室
2/5 (水)	堀内、洲崎	9:00~12:00		2/13 (木)	舟形第3・4、太折、向山	9:00~12:00	
2/6 (木)	長者原、福寿野、馬形	9:00~12:00		2/14 (金)	一の関、経壇原	13:00~16:30	
2/7 (金)	野、幅、長尾	9:00~12:00			紫山、木友、鼠沢	9:00~12:00	
2/10 (月)	長沢第1・2・3	9:00~12:00 13:00~15:00	生涯学習センター 2F多目的集会室		沖の原、西堀	13:00~16:30	
				2/17~3/17 (土・日除く)		9:00~16:30	役場 3F会議室
				町県民税申告・確定申告			

申告の期限は平成26年3月17日 (月) です

▼問い合わせ / 舟形町税務福祉課税務班 ☎ (32) 2111 (内線391・392・393)

●聞き書き：第4回

舟形の亜炭の時代

～戦争捕虜から炭鉱夫へ～

話し手：桜井 貢 87歳 × 聞き手：飯田雅子 地域おこし協力隊
桜井光代 84歳

桜井 貢 さくらい みつぎ (木友) 昭和2年生まれ

学校卒業後、15歳で満州にて自動車工として働き、19歳で召集。終戦後、ウランバートル(モンゴル)で3年間捕虜の生活を送る。昭和22年11月に復員し、その翌月から昭和44年まで、炭鉱夫として木友炭鉱に勤める。現在は、木友老人クラブ「こぶし会」会長。

桜井光代 さくらい みつよ (木友) 昭和5年生まれ

福島県生まれ。常磐炭鉱で働いていた父親が木友での炭鉱指導のために、家族で舟形町に移住し、新荘高等女学校に編入。木友炭業所で計理係を3年間勤めた後、舟形町役場に転職し、定年まで勤める。木友老人クラブ「こぶし会」では企画を担当。



●生き抜いた戦争捕虜の経験

昭和17年に舟形中部尋常小学校の高等科を卒業してすぐ、15歳の時に軍属として満州さ行って、自動車整備工として働いたんら。満19歳の時、兵隊さ召集になった。鉄砲ぶちも何も知らなくて、弾50発とほれから散弾銃持って山行って習ったものよ。ほして召集されてから3日目の8月15日、戦争が終わったんだ。

武器から何からみなとられておれらは捕虜になって、ウランバートルで自動車の修理しとった。ほこでの暮らしなんて、とんでもねえ。米なんてねえんだから。朝と昼は黒いパン1つずつ。パンたって、ちっちゃこいなだぜ。夕飯は湯のみ茶わん半分ぐれえの小豆だけ。食べた気がしないし、足りんかった。

気温は零下20度、30度はふつうだから、寒いなんてもんでねえわ。^{がいたう}外套脱がねえでそのまま寝てた。亡くなった人もいて生きてたのはおれたち若い人ばりだった。

帰国したのは昭和22年11月20日。船でナホトカ(旧ソ連)から函館さあがって、ほして帰ってきて木友炭鉱さ12月にすぐ入ったんらよ。他に仕事もねがったし、親父らちや食わせらんねかったもん。

●炭鉱夫

毎日、月曜から土曜まで、炭山さ入って亜炭掘りしてたんだ。朝8時半から16時頃まで。体力仕事だねあ。

コールピック^{※3}っていうのを使って掘ってた。発破かけて、爆発したとこをピックで掘んなよ。ピックですつと、落盤^{※2}ていうか、上から土が落ちてくつときもあんだべや。ほういう事故で埋まって死んだ人もいたべつちや。目の前で落盤して、逃げ

※1 軍属…軍人以外で軍隊に所属する人のことをいう。軍の施設等で働く人も軍属に含まれる。

※2 木友炭鉱…木友炭業所。亜炭山としてはその規模と出炭量において、日本一といわれた時期があったほど国内でも有数の亜炭鉱山。石油の出現による世界的なエネルギー革命の中で衰退をたどり、昭和46年に閉山。

※3 コールピック…圧縮空気で作動する削岩機に似た石炭の切崩し機械。

「聞き書き」から 舟形の記憶 伝え書く

地域おこし協力隊
飯田 雅子



<聞き書きの手順>

- ① 「テーマ」を決める。
- ② 関連資料を調べる。
- ③ 対話をする。※録音する。
- ④ 内容を全て書き起こす。
- ⑤ 文章を整える。

聞き書きとは

「聞き書き」とは、聞き手と話し手の対話を語り口調のまま、話し手の言葉だけ文章にまとめること。知識や技術の記録だけでなく、語り手の人生経験や想いも浮かび上がらせる手法です。一見、ひとりで話しているように見えますが、聞き手が何をどう聞くかによって話す内容も変わってきます。そうした意味では、聞き手と話し手が共同で作るという文芸作品ともいえます。

舟形町は亜炭で栄えた炭鉱の町ですが、今は面影がほとんどありません。坑内に入る炭鉱夫は危険と隣り合わせですが、当時、仕事を選択する余地などありませんでした。そうした過去を知ることは、未来を考える手がかりとなるのではないのでしょうか。



昭和20年代 炭鉱で働いていた仲間たちと

て、空気が少なくてらぐんねかった。風管ってよ、空気送る装置はあったべけつども、酸素はあまりこねかったな。息できねえくれえだったもん。炭鉱山だめになってみんな辞めていったんだ。東京の方さ行ったり、埼玉とかそっちの方さ行ったんわな。あの当時は東京さ行くと、なんぼでも仕事あったねえ。おれたちは親たちこつちいたから行かんねえべや。

●今の暮らしとこれから

木友老人クラブは毎月2回くらい行事してつから、集まると楽しいんだ。なんたって体が資本だねえ。健康でねえと、集まりさ来らんねえもん。最近塩麴づくりとかじゃばら大根、ヤクルトさんの腸の健康づくりの話も聞いたし、輪投げ、高齢者フェスティバルの練習、様々やってんなら。お茶飲みがあつから、いいんだべつちやねえ。みんな漬物とか、りんご持って来たり。自分が困ったこと、話したり聞いたりして。みんなしゃべるときはイキイキしてるもんねえ。
舟形はよ、災害ないところだもの。雪ぐらいだから。住みやすいつちやね。ただ勤めつとこがないんだもの。だから若い人たちみんな出て行くもんねえ。これからの町に期待するのはやっぱり、仕事だべねえ。

西堀の食事処「どろっこ」さん。トロッコ道が店の前にあったそうです。



飯田 雅子

聞き書きから
舟形町を含む最上川流域は最上炭田といつて日本三大亜炭田の一つだったそうです。当時の人口は今の2倍の約一二、〇〇〇人でした。便宜上、1つの話としてまとめましたが、長屋暮らしの様子などは光代さんから伺ったお話です。長屋では大変なことも多かったようですが、周りの人と助け合い、つながりのある暮らしだったとのこと。
炭鉱だけでなく、戦争捕虜時代の貴重なお話も伺うことができました。今は仕事の選択に悩む時代ですが、親を養うため炭鉱夫になつたとの言葉が心に残りました。
なお、閉山まで木友鉱業所の経営をされた山本金一郎さんのお話も参考にさせていただきました。お礼申し上げます。

全4回の聞き書きを通して

4回にわたり「聞き書き」をしてきましたが、今回で一旦終了します。

人生の大先輩方から、生きる力を学びたいと始めた「聞き書き」ですが、「生きること」そして「働くこと」を深く考えるきっかけとなりました。みなさんに共通しているのは、若い頃から「生きるため」、「家族を食わせるため」に働いてきたというところ。大変なことでも受け入れながら、日々淡々と暮らしてきたということですね。

戦後の食糧危機から高度成長期への激動時代を生き抜いてきた、強くてしなやかな先輩方の力によって今の舟形町が築かれてきたということが、町として誇れることの一つではないかと感じています。

最後に、この企画に当たり、お話を聞かせていただいた、八锹朝吉さん、沼沢トメヨさん、早坂勝さんをはじめ、ご協力いただいたみなさんに感謝いたします。ありがとうございます。

▼問い合わせ先
舟形町地域おこし協力隊

(舟形町まちづくり課企画調整班内)
☎(32) 2111 (内線315)

遅れた人が足挟まってケガしたこともあった。

炭鉱掘る作業は、1人でねく、4人ぐれえで組んでよ、ほして掘つてもんだつた。崩つたのを集めて、鉄板で作つた漏斗で下の選炭場さ流すんだ。ほうすつと女の人たちがズリと亜炭とより分けて、やんばい切つて俵さ詰めて、駅までずうつとトロッコで運ぶんだなよねえ。駅では貨車さ積んで、ほうして届けるんだ。

大変だったのはやっぱり、水だな。底の方だから、水が上から、ダツダツダと落ちてくるもんだから合羽着て。雨の中作業しているようなもんだ。

炭鉱掘りながら壁に木で枠つくつていくんだ。そこをトロッコがまた通つて、掘り進みながら、どんどん線路ができて行く。トロッコ道路あつたなで、冬はみんな助かつたんだ。ちゃんと屋根あつて、囲いなつてつし、みんなあそこなか歩いて来て道路まで出はんよねえ。

●長屋暮らし

仕事してて楽しい思い出などねえけつど、やっぱり仕事をあがつて、風呂さ入つて、飲むのさ一番楽しみだったべつちやねえ。おれはあまり飲まねかつたけつどもよ。各長屋さ、共同風呂つてのがあつたのよ。そこ当番で毎日風呂沸かしておくんなよねえ。みんな共同で入つたんだ。うちは6軒長屋で、10軒長屋つてのもあつたんだよねえ。ストーブ焚き放題だもんだ、冬も暖かつたんだ。ストーブで全部煮炊き。ガスなんてねがつたしねえ。

あと便所も一つ、共同で。夜は大変なんだ。みんな桶みたいなの家さ置いてよ。ほしてそこでおしっこなの、外さ行かないで、雪降つてつべし。どこの家でも、みんなほげしたはずだねえ。

寝るときはわら布団だよ、みな。白い継ぎ大きく縫つて袋にして、はいつちやわらへつて。あつたつこかつたねえ。今なら考えらんねえ。ガサガサつて。ほんつて、隣の境だつて杉板一枚だべ。「おーい」つて叫ぶと聞こえるようなもんだもの。大変だったんだ、昔は。

木友炭鉱が閉山になつたのは昭和46年だけつども、身体がだんだんいうことさかねくなつて、昭和44年に辞めたんだわ。だんだん掘る量は少なくなつた。炭鉱はあつたべけつど、ずい道が長くなつていったもんだけつ



実栗屋炭鉱での採掘の様子

※4 ズリ………鉱山や炭鉱において採掘されるが価値のない岩石
※5 トロッコ……ズリや土砂の運搬に用いられる建設工事用車両
※6 長屋………1棟を仕切つて、数戸が住めるようにつくれた細長い家

平成25年度

舟形フォトコンテスト作品募集!

豊かな自然、温かい暮らし、残したい文化
「舟形町の魅力」を写真を通して表現してみませんか



「元気ハツラツ」



「松原の紅葉」



「お宮参り」



〈テーマ〉

○舟形町の四季、自然、人々の暮らし、文化、生活、風景など、舟形町の魅力を撮影した作品

※撮影地及び被写体ともに舟形町内に限ります。

〈応募資格〉

○プロ・アマ問わず、誰でも応募可能

〈応募作品〉

○四つ切り・四つ切りワイドのプリント
(ホームプリンタで印刷した作品は除きます。)

○縦位置・横位置、モノクロ・カラーいずれも自由です。

○未発表で加工していないものに限りです。

○被写体の肖像権など、他者の権利を含む著作権を使用する場合は、必ず権利者の承諾を得てください。

○町PRに使うため作品は返却しません。

〈応募方法〉

○お一人様、3点まで
(作品1点に、1枚の応募票を添付)

〈賞品〉

グランプリ	1点	(15,000円程度の特産品)
優 秀 賞	2点	(10,000円 ")
入 選	2点	(5,000円 ")
佳 作	2点	(3,000円 ")

〈〆切〉

平成26年1月31日



<申込み・問い合わせ>

舟形町産業振興課商工観光班

☎ (32) 2111 (内線423)

主催/舟形町・舟形町観光協会

同時募集!

特別企画

「舟形町おもひで写真館」



イメージ写真

ご家庭に眠る昔の舟形町の写真をお持ちの方は、舟形町産業振興課までご連絡ください。
※応募者全員に若あゆ温泉券をプレゼント

大切なお写真だと思いますので、お近くの写真店へ相談の上、コピーでの応募も可能です。



あなたの想いがまちづくりに活かされています。

～ふるさと納税～

平成25年1年間で58件2,376,000円

「ふるさと納税」は、「生まれ育ったふるさとや地域を大切にしたい」、「ふるさとのために貢献したい」という善意の気持ちを、寄付金という形にして応援していただくものです。地方自治体へ寄付された場合、その相当額が、所得税やお住まいの住民税から控除される制度です。

【寄付された場合】

ふるさと納税制度により、寄付金額の2千円を超える部分について、税務署に申告することで個人住民税所得割額の1割程度を上限として、個人住民税が軽減されます。また、舟形町では、1万円以上の寄付金をいただいた方には舟形産米などのスペシャルプレゼントをご用意しています。

【寄付金の使い道】

みなさんからの想い(寄付金)は、次の中からお選びいただき、まちづくりに反映させていただきます。

- 1 子育てを支援するまちづくり
- 2 健やかに暮らせるまちづくり
- 3 地域の活力あるまちづくり
- 4 環境にやさしいまちづくり
- 5 安全で安心なまちづくり
- 6 国宝「縄文の女神」出土の西ノ前遺跡整備への取り組み
- 7 1から6の取り組みにこだわらずに支援

【寄付申込み・送金方法】

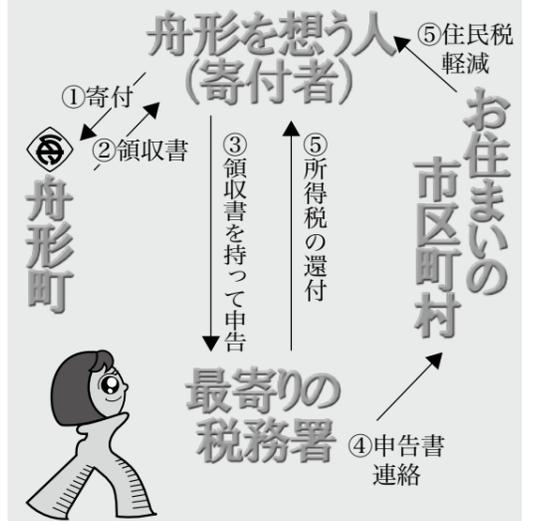
舟形町への想いは、次の方法で届けられます。なお、寄付をご希望の方には、パンフレットを送付いたします。

- 申込み方法/寄付申込書(当町指定)にご記入の上、持参または郵送、FAX、電子メールで申込み。
(寄付金は1,000円以上をお願いします。)
- 寄付金の送金方法/郵便局、銀行振込、現金書留、現金持参があります。
詳しくは、舟形町ホームページ、または舟形町まちづくり課企画調整班までお問い合わせください。

舟形町ホームページ <http://www.town.funagata.yamagata.jp/>

▼問い合わせ/舟形町まちづくり課企画調整班 ☎ (32) 2111 (内線314)

【ふるさと納税の流れ】



スペシャルプレゼント

舟形町の特産品をお届けします!

- ・舟形若あゆ温泉券
- ・縄文の女神グッズ
- ・舟形産米・漬物セット
- ・山ぶどう酒セット
- ・やまがた地鶏セット など



山ちゃん日記 Vol.27



山ちゃんこと
山川指導監

チャレンジ農業実践塾では、おかひじきの後作として小松菜などの葉物野菜の生産に取り組んでいます。9月中旬に播種を行い、無加温で管理します。12月頃から産直まんさくやヨークベニマル新庄下田店などへ出荷しています。産直などで販売するには、年間を通して質・量を均一にする生産体制が必要です。

水稻にねぎ、おかひじき、葉物野菜などの園芸作物や加工食品を組み合わせ、水稻プラスαという営農体系を構築し、年間を通じた農業収入の確保を目標としています。

▼問い合わせ/チャレンジ農業実践塾(舟形町産業振興課農政班)
☎(32)2111(内線426)

～チャレンジ農業実践塾通信～



小松菜の2回目の定植

産官民学・手作り協働展

わだい①



12月12～17日、舟形マッシュルーム、舟形焼わかあゆ薫風窯、東北芸術工科大学などが十字屋山形店で「舟形町の文化と物産展」を開催しました。6日間にわたり、町の特産品を販売・PRしたこの催しには、たくさんのお客様が訪れました。

これは、舟形町に関連する民間企業(産)、地方自治体(官)、地域住民(民)、教育機関(学)の産官民学が連携し、まちづくりの実現と地域経済の活性化を目的とした取り組みです。

舟形町議会活性化特別委員会

わだい④



1月16日、舟形町議会と舟形町民生児童委員協議会が中央公民館で意見交換会を行いました。これは、舟形町議会活性化特別委員会が町の福祉課題などを聞き、議会と民生児童委員が共通理解を持ってその対策と解決に役立てられるようにと、初めて開催したものです。

会の中で民生児童委員5名からの事例提供と意見交換を行いました。今後の福祉のまちづくりに活かされていきます。

人命救助の3名に感謝状

わだい②



1月10日、最上広域消防長から3名の方に感謝状が贈られました。今回、感謝状が贈られたのは、伊藤賢一さん(舟形第3:左)と沼澤伸一さん(舟形第3:中)、伊藤健一さん(野:右)です。

3人は12月14日に発生した舟形第3地内での住宅火災の際に、自らの危険を顧みず、まだ家の中に残されていた高齢者夫婦の救助にあたりました。

知事のほのぼの訪問

わだい⑤

1月15日、吉村美栄子県知事が県民の声を活かした県政を推進するために行なっている「知事のほのぼの訪問」で舟形町を訪れました。まちづくり研究団体「Tmプロジェクト」と青年団体「FITS」のメンバーが町屋「き乃川」で地域資源の継承などについて知事と意見交換を行いました。

「地域資源を活用し、町民のみなさんと一緒に楽しめる活動をこれからも続けていって欲しい。」と吉村知事は話していました。



五穀豊穣を祈願

わだい③



1月10日、舟形ほほえみ保育園で、水木団子の飾り付けを行いました。これは、五穀豊穣を祈る小正月の伝統行事を子どもたちにも体験してもらおうと、舟形町老人クラブ連合会(会長大場和夫さん)が毎年行なっているものです。

色とりどりの団子や園児の願い事が書かれた飾りなどをおじいちゃん、おばあちゃんたちと水木に下げました。



1月12日、大平町内会にて「御柴灯」が行われ、町内会のみなさん約35名が参加。古くなったお札やお守りなどを燃やし、今年1年の無病息災を祈願しました。「御柴灯」は、年末からの時期にかけ、各地区で行われている伝統行事です。



1月5日、町消防の安全祈願祭が中央公民館で行われ、今年一年の無事故・無火災を祈願しました。その後に行われた出初式では、加藤憲彦団長、奥山知雄町長のあいさつの後、舟形本町通りにて分列行進と祝賀放水を行いました。



12月27日、舟形町交通安全母の会に新庄警察署長から感謝状が贈られました。これは、様々な警察活動において、協力・功労があった8団体5個人に贈られたものです。これからも町交通安全のためによろしくお願いします。



12月20日から町内3会場で行われた町伝統文化の継承を目的としめ飾り作り講習会が行われ、計45名が参加。しめ縄から飾り付けまで全て自分で作製し、世界に一つだけのしめ飾りが出来上がりました。



12月24日、舟形町交通安全対策協議会が舟形橋パーキングで「飲酒運転撲滅立哨運動」を行いました。悪天候の中、「絶対に飲酒運転を出さない・させない・許さない」を合言葉に、飲酒運転撲滅を呼びかけました。



12月14日、少年少女手作りおもちゃ教室を中央公民館で開催し、子どもたち11名とボランティア3名が参加。「わりばしゴム鉄砲」と「彩鉄砲」作りをボランティアの方と一緒に楽しみました。

まちのわだい

舟形町ではホームページを開設しています。中でも「Oh! News」は新鮮な情報が満載。舟形町HP <http://www.town.funagata.yamagata.jp/>

ふれあい広場
VARIETY INFORMATION

あなたの声をお寄せください
まちの話題、疑問、質問、
提言・意見のほか、会員募
集やリサイクル情報（譲り
たい、譲ってほしい）、イ
ラストなど何でも結構です。
広報紙上でできるだけ紹
介しています。

まちづくり課 企画調整班
☎ (32) 2111 (内線313)

2月の納期
◆国民健康保険税
◆介護保険料
◆後期高齢者医療保険料
2月28日(金)まで
忘れずに納税しましょう。

タバコは町内で買ひしょう。 2月の舟形若あゆ温泉の
11月のタバコ税は1,413,953円 休館日は、12日(水)

「五橋中」民泊家庭大募集!

交流人口を増やすことで地域の活性化につなげようと「ふながた自然田舎まるごと体験実行委員会」を組織し、平成19年度より仙台市内の中学校の野外活動の受け入れを行なっています。
みなさんのご協力によりたいへん好評をいただいております。今年も「仙台市立五橋中学校」が教育旅行で町を訪れます。
つきましては、民泊体験にご協力いただける家庭を募集します。
みなさんのご協力をよろしくお願いします。



▼期 間/1泊2日
5月14日(水) 午後5時頃
～15日(木) 午前8時30分頃

▼民泊体験の内容/
○1家庭に2～4名の生徒を泊めてください。
○朝か夕方に1時間程度の農作業などを体験させてください。
○1日目の夕食と2日目の朝食の準備をお願いします。

▼その他/
○些少の謝礼を準備します。
○食事は献立案を作成しますが、基本的にはおまかせします。
○実行委員会が生徒を各地区の集合同所まで送迎します。

▼メ 切/2月21日(金)
▼申込み・問い合わせ/
ふながた自然田舎まるごと体験実行委員会
舟形町まちづくり課企画調整班 ☎ (32) 2111 (内線312)

○空間放射線量測定結果

測定日/1月20日(月)

測定場所	天候	測定値(μsv/h)	
		0.5m	1m
舟形小学校	晴	-	-
旧堀内小学校	//	0.03	0.03
旧富長小学校	//	0.03	0.03
旧長沢小学校	//	0.04	0.04

○水道水に含まれる放射性物質測定結果

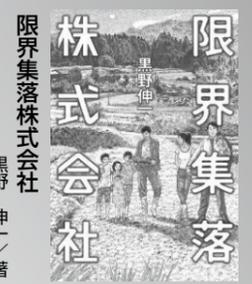
測定日/12月19日(木)

採水場所	ヨウ素	セシウム
舟形町役場	不検出	不検出

～人体に影響はありません～

新刊書の紹介

(町中央公民館図書室)



集落の消滅を憂う老人たち、帯細農家の父親と娘、田舎に逃げてきた若者、かつての負け組たちが立ち上がる! 地域活性化エンターテインメント。



おいしいサンドイッチをつくらう。読み聞かせにもぴったりのたのしくて、おいしくて、うれしい、スキンシップ絵本。

第27回新春町民なわとび大会

1月19日、第27回新春町民なわとび大会が開催され、26チーム、391名が参加しました。冬期間の運動不足の解消と健康づくりを目的としたこの大会も27回目を迎えました。参加チームそれぞれが息を合わせてジャンプ。体力の限界に挑戦し、清々しい汗を流しました。大会結果は次のとおりです。

【団体の部】

◎小学生の部

優勝	舟形小学校イレブン	338回
準優勝	舟形ドリームガールズ	169回
第3位	舟形クローバーズ	144回

◎中学生の部

優勝	舟形中野球部	252回
準優勝	FCふながた	112回
第3位	FCふながたレディース	78回

◎一般男子の部

優勝	長者原町内会	31回
準優勝	舟相(ふなっすー)	15回

◎一般女子の部

優勝	長者原若妻会	37回
準優勝	JAおばちゃん軍団	26回

◎一般混成の部

優勝	JA脱メタボチーム	41回
準優勝	舟形クロカン保護者会	29回
第3位	舟形ビッグビッグサンダーズ	17回



チーム「FCふながた」



チーム「JA脱メタボチーム」

【個人の部】

◎小中学生男子の部

優勝	舟形小6年	大場南央斗
準優勝	舟形中1年	芳賀 裕斗
第3位	舟形中2年	治部 直樹

◎小中学生女子の部

優勝	舟形小4年	八嶽 佑月
準優勝	舟形小6年	高橋 未来
第3位	舟形小6年	伊藤 夢空

◎一般男子の部

優勝	新庄市	山口 大陽
準優勝	洲崎	富樫 政光
第3位	新庄市	渡部 恭平

◎一般女子の部

優勝	一の関	沼澤 美里
準優勝	福寿野	奥山 智子
第3位	舟形第4	飯田 雅子

▼問い合わせ/舟形町B&G海洋センター ☎ (32) 3501

舟形文筆ひろば

短歌

事故防止と車の運転止められて足の大事さつくづく思ふ
木瓜の花の会 佐藤 景雄(沖の原)
曲線の黒き帯引き流れる河は白より出でて
木瓜の花の会 佐藤 和夫(西堀)
夕方や窓辺にうつる冬花火仲間と共に心とむけり
四季句楽歩 渡部 捷一(光生園)

【千風会「祈り」】

こまのごとまめに働き揺るぎなき望み多く持ち新年を迎ふ
千風会 畠山 ひろみ(木友)
元朝の仰ぐ星座の神々し祈る平安わたしのさそり座
千風会 小野 光子(真木野)
わが母の雑煮の味を伝えたい言葉ではなく娘え「わがこの味で」
千風会 吉田 智子(盛岡市)
紅すずな煮へてうすべ二「七草粥」この伝承食若きらへ継承
春の七草：芹、ナズナ、すずな、すずしろ(大根)、はこべ、
御行、仏ノ座
千風会 沼澤 千鶴子(鶴陽)(舟形第四)

俳句

新しき年のめぐりに合掌す
木瓜の花の会 星川 政子(舟形第三)
ふる里はどつぶりどつぶり雪の中
木瓜の花の会 伊藤 良文(舟形第四)
七草の粥を食せり若菜かな
木瓜の花の会 佐藤 孝子(舟形第二)
登校のバス待つ列や息白し
朝の会 岸 良子(長沢第三)
冬の霧村つまれてうす灯り
朝の会 大場 小夜子(内山)
冬霧の消えやらぬままたべかな
朝の会 柏木 伸子(長沢第三)
メモ帳にぎつりメモリ年用意
朝の会 井上 順子(野)
つぶやきも言葉になりぬ十二月
朝の会 佐藤 昭子(長沢第一)
宅急便みかん担いで登り来る
朝の会 高橋 ふき子(長沢第三)
夕間に窓見上げれば六の花
四季句楽歩 永沢 幸男(光生園)
冬牡丹風にふかれて花舞い散る
四季句楽歩 後藤 ふみ(光生園)
クリスマスネオンに笑った光生園
四季句楽歩 原田 正昭(光生園)
冬の空火花が上がる大歓声
四季句楽歩 菊池 忠男(光生園)
初雪や窓辺にうつる小国川
四季句楽歩 渡部 捷一(光生園)
白銀に美しく咲く火花かな
四季句楽歩 奥山 早知子(光生園)
初春の年を重ねて夢さぐり
鈴木 谷五郎(西堀)
母も亡き齡を重ね冬ごもり
真見 七生(舟形第四)
熱燗やこれはこれと祝ひをり
千風会 森 勝広(舟形第四)
ぼけ防止真似て描く絵や冬灯し
千風会 毛利 良次(埼玉県)
全山の眠りたる世界誦経かな
千風会 沼澤 鶴陽(舟形第四)
山眠る：冬の季節

12月2日～1月1日届出分

ご結婚おめでとう

内山 伊藤 浩
神奈川県 (村上) 恵美

堀内 坂上 侑
西堀 (落合) 歩

お誕生おめでとう

富田第1 青木 凛 (一馬理)

富田第1 石山 玲愛 (寿光)

太折 庄司 咲那 (拓也)

戸籍の窓

おくやみ申し上げます (世帯主)

- 野 矢野ミヨノ 96 (初男)
- 大 平 伊藤恵志子 64 (市雄)
- 舟形第2 沼澤ツルエ 94 (清一)
- 舟形第4 黒川 重彌 83 (本人)
- 堀内 伊藤 隆康 86 (本人)
- 実栗屋 近藤 四郎 88 (本人)
- えんじゅ 大場トミ子 85 (本人)
- ほなみ 斉藤美代子 83 (本人)

掲載を希望される方は、届け出の際にお申し出ください。

人口と世帯

12/31 (現在)

男 : 2,903人 (-8)

女 : 3,045人 (-1)

計 : 5,948人 (-9)

世帯 : 1,897世帯(-1)

()は前月比

選挙人名簿登録者数

(12/2現在)

男性 2,406人

女性 2,586人

計 4,992人

ふなこい 舟恋

～Vol.21～

～地域おこし協力隊員のつばやき～

地域おこし協力隊の飯田雅子と小林信之と神山佳奈枝です。このコーナーでは、私たちが舟形町の魅力を発見し、地域みなさんにお伝えしていきます。

今月のまちゃ隊員

12月8日、富長連合町内会の地域づくり研修会が行われました。赤倉地区(最上町)の方々からまちづくりの事例を紹介していただきました。

小学校統合による地域への影響を改めて考えさせられたと共に、グループに分かれてのワークショップでは意見が活発に出されました。



ワークショップの様子

今月のこばやし隊員

マイナス7度。今年の冬も寒いですね。寒いと、つい外出することが億劫になってきます。

そんな中、1月12日に堀内町内会で行われた御柴灯に参加してきました。この日は吹雪いていたのですが、50名を超える町内会のみなさんがおいでになりました。地域行事を大切にしたいという想いは、気温とは対照的で、熱いです!



御柴灯の様子

今月のかなえ隊員

12月12～17日、十字屋山形店で開催された『舟形町の文化と物産展』で長沢和紙をPRしてきました。自分が漶いた長沢和紙で作ったハガキなどのレターセットを出品。購入された方からは「身近に使えるからいいね。」という感想をいただきました。

使用する方のニーズに合わせて工夫を凝らし、いろいろな和紙製品を考えていきたいです。



舟形町の文化と物産展in十字屋山形店

ここでは書ききれない日々の活動や暮らしのこと、想いを綴った日記(ブログ)をインターネットで公開しています。ご意見・応援のメッセージなどをお寄せください。

- 飯田雅子ブログ『Earth Dayな日々』<http://www.treep.jp/blog/earthday/>
- ★小林信之ブログ『アユオの活動物語』<http://funagataayu.blog.fc2.com/>
- ◎神山佳奈枝ブログ『舟形町移住日記』<http://funagata-iju.seesaa.net/>

総務課 No.345

青いシグナル



平成25年中の交通事故発生状況

(H25.12.31現在)

	発生件数	増減	死者数	増減	負傷者数	増減
山形県内	7,082	1	39	2	8,750	4
新庄・最上地区	380	7	8	3	494	20
新庄市	232	22	3	2	304	44
金山町	20	5	2	1	21	△1
最上町	30	△8	1	0	32	△19
舟形町	28	8	1	1	37	13
真室川町	18	△5	1	0	20	△4
大蔵村	10	2	0	0	11	0
鮭川村	19	△10	0	0	23	△12
戸沢村	23	△7	0	△1	46	△1

新庄・最上地区の死者数は8名で、前年比3名増・事故発生件数7件増、負傷者数20名増と、全てにおいて増加しています。

この8名の死亡事故はいずれも、高齢者が夕暮れ時の薄暗い時間帯の道路横断中に事故に遭っています。

夜光反射材などの積極的な活用や明るい色の服装にするなど一人ひとりが交通事故防止に努めましょう。

成人式を迎えました!



大場絵里香さん(長沢第1)

家族からのメッセージ

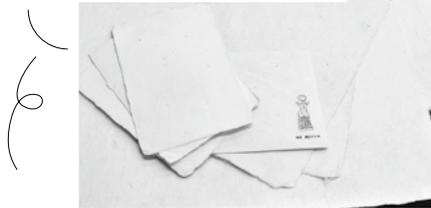
早いものでもう成人を迎える年齢になりましたね。自分の行動に責任を持ち、優しい大人になってください。

母 郁子さんより

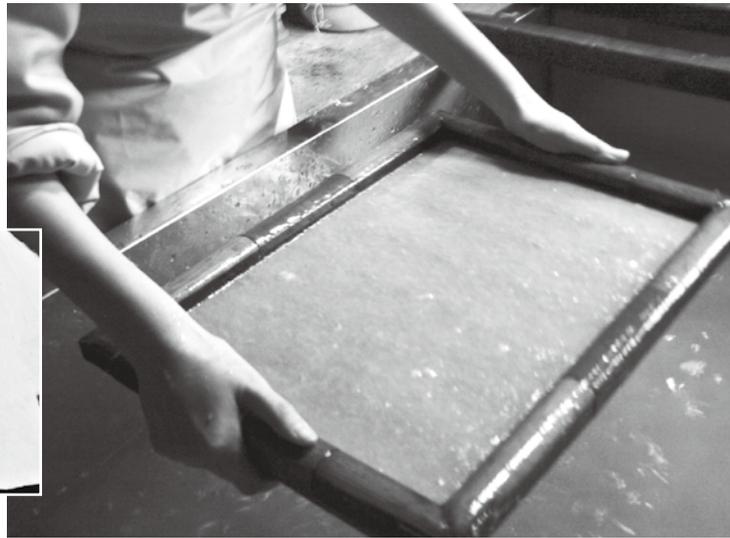


4歳頃の絵里香さん

- ◆現在の職業は?..... 大学生 保育士を目指しています
- ◆自分を一言で?..... 猪突猛進
- ◆好きな言葉は?..... 信じれば夢は叶う
- ◆趣味は?..... カフェめぐり
- ◆今一番欲しいものは?..... 体力(笑)
- ◆舟形町の良いところは?... 自然が豊かで、みんな優しいところ
- ◆10年後の舟形町は?..... 今の美しい自然を残しつつ、もっと活気あふれる舟形町に
- ◆成人式を終えて一言..... 今まで支えてくれた人に感謝を忘れず、自分が憧れた素敵なお大人になりたい



和紙人形とレターセット



紙漉きの様子

技術と想いを伝承

「新長沢和紙保存会」和楽

「ピッチャン、ピッチャン」
和紙を漉くスキケタが生み出す「ざざなみ」の音が響きます。

長沢地区に約800年前から伝わる「長沢和紙」。昭和初期はこの地区で暮らす人々の冬仕事として取り組まれてきましたが、パルプ製紙の普及や楮畑の減少などにより、一時期途絶えてしまいました。そして、昭和57年に町の特産品づくりの一環として再開し、町指定文化財に指定された後は、小中学校の卒業証書などに使われ、多くの方から愛されてきました。しかし、今また、長沢和紙職人は郷土特産物センターの大場秀子さん一人となり、後継者不足のため、文化の継承が危惧され始めました。

そこへ射しこんだ一筋の光……。地域おこし協力隊の神山佳奈枝さんら5名が、継承を目指して新長沢和紙保存会「和楽」を結成したのです。

「和紙漉きは、厳寒期の冷たい水を使つての立ち仕事など、苦勞することが多いです。しかし、そんな厳しい工程を経て出来上がったこの和紙は、素材でありながら優雅で、強靱。そんな魅力があります。原材料の栽培など、一人では出来ないことがたくさんあります。この和紙を誇りに思う地域の方と一緒に継承し、長沢和紙を広めていきたいです。」と、神山さんが話してくれました。

今はまだ、きこえない紙漉きの音も、冬を越える度に、伝統の技を継承したりズミカルな「ざざなみ」の音を奏でることでしょう。

「ピッチャン、ピッチャン」

丸印に文字を入れてください

「縄文の女神」がデザインされる
〇〇円硬貨



郵便ハガキに、○に入る答えと住所・氏名・電話番号を明記してご応募ください。【メ切：2/14必着】

▼応募先／〒999-4601 舟形町舟形263
舟形町役場 広報ふながたクイズ係
メールからの応募もできます。

舟形若あゆ温泉
協賛

▼アドレス／info@town.funagata.yamagata.jp

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

先月の答え…11組

★広報ふながたクイズ!

「1名様に若あゆ温泉入浴券(2回分)プレゼント」

表紙の紹介



11月19日から毎週火曜日に開催の「縄文の女神大型模型作り」で製作された「縄文の女神」大型模型が、中央公民館玄関ロビーに展示されました。図書館へ勉強に来ていた舟形小6年生の児童ら7名と記念写真を撮りました。

tel.0233(32)2111 fax.0233(32)2117

メールアドレス kikakupr@town.funagata.yamagata.jp

http://www.town.funagata.yamagata.jp

